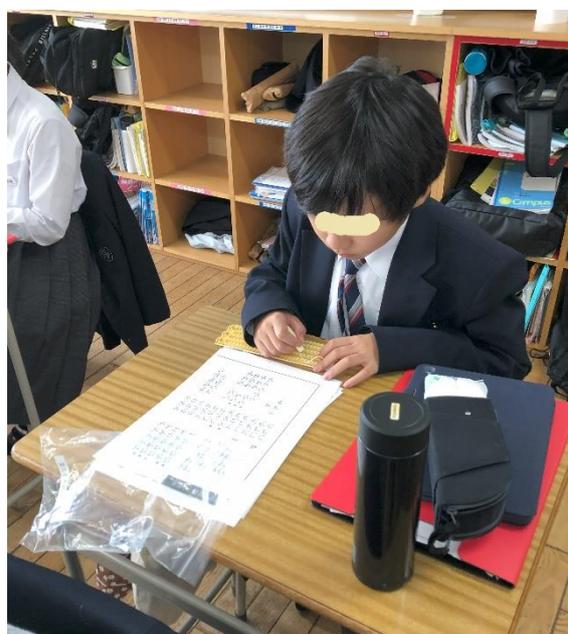


2024.11.6 今日、毎年1年生を対象に行っている「福祉実践教室」を実施しました。これは、地域で暮らしている障がい者や高齢者との交流を通して、地域の福祉課題や生活課題に気づき、「豊かな人間性」や「共に生きる力」を育むことを目的としています。



今年も多くの講師の皆さんにご協力いただきました。「車いす」の講座では、実際に乗って操作したり、安全な押し方を学んだりするなど、体験を通して理解を深めました。小さな段差でも車いすが通れなくなることや、高いところに手が届かなくなることなど、日頃の生活では気付くことができない学びがたくさんありました。



社会の中のあらゆる差別や偏見をなくすためにも、介助する側とされる側の両方の立場に立ち、お互いの思いを共感的に捉えるとともに、一人一人のよさを認め合うことができる、思いやりあふれる温かい北中生であってほしいと、心から願っています。